

申
2
号

2023年度年末手当に関する申し入れ 第3回交渉「回答を受けて議論」をおこなう! その1

- (会社) 回答書読み上げ (SWALLOW NEWS No.067・068号参照)
- (組合) この間、申し入れの趣旨、根拠、仲間と家族の想いを伝え年末手当で年末年始輸送、春輸送に対して士気、モチベーションに繋がると議論してきた。回答が2.0ヶ月となると要求の2.8ヶ月+10万円から乖離している。2.0ヶ月という回答に至った根拠をより詳しく具体的に述べてもらいたい。
- (会社) 回答書に示している通りであるが、上期の評価し現下の経営状況を踏まえこの数字を出した。この間の交渉で遠隔地点呼の推進、夏季輸送や効率化に最大限協力していただいたこと、賃金改定などの在り方にも触れてきた。回答は中長期的な賃金の在り方を回答書へ記入した。一般線の見直し、高速線の「選択と集中」が大事になっていく中で社員一丸になっていくことに期待込めて回答した。賞与をピンポイントで見ずに、賃金改定を中長期的に考えいくという意思を入れた。
- (組合) 今後の賃金への回答というが、具体的に何か。
- (会社) 限定列記はしていないが、55歳・57歳基本給減額制度にフォーカスを当てていく方向性が強い。
- (組合) 三段目に触れているが、中東情勢、燃料高騰が懸念材料で通年黒字を達成できるかどうかは分からないが、今後の経営見通しについてマイナス要素ばかりを回答に入れてほしくない。インバウンドにおいてはコロナ禍前を超えたという報道がされている中で、よほどのパンデミックが起きない限り今後も好機が続いていくのではないかと。年末年始輸送・春輸送など通年黒字達成に向けて、士気が高まるようにこの回答数字にもっと上乘せができたのか。
- (会社) 回答書には良いことばかり書けずしっかりとマイナスの要素をお伝えしなければならない。2回目の交渉内容も踏まえて回答を決めた。燃料高騰には国からの補助金支給が12月まで伸びるようだ。インバウンドについてだが円安、5類になって以降コロナに対する日本の衛生面などで外国からの旅客人数が増えている。成田空港線・新宿ディズニー線・河口湖線・御殿場アウトレット線など好調である。この先も円安が続くかわからないし、今回のコロナのように世界がどうなるかわからないという中でインバウンドの一本足打法は厳しい。国内需要を膨らますためにお客様の需要が見込まれるところは続行便などを出すことも検討する。旅客需要が増えているがコロナ禍前に対してお客様が100%戻るのかどうかは厳しい。今後の課題であるが、片輸送的な続行便というのは波動輸送にはつきものであり、片輸送で満席ならば採算はとれるなどがある。単月黒字が積みあがって当社を取り巻く全てのステークホルダーに還元していけるか応えていかなければならない。インバウンドだけに着目するのではなく国内のお客様、週末波動などに的確に reacting していくか、選択と集中を進めていきたい。国内需要が新たに取込めるかが重要であるが、時刻表上フェリーターミナル便は半減するが、つくば便をバステックから土浦支店へ運用変更することにより、4台の車両が運用から外れることになり、車両運用を効率よく詰めていき収入面を整えていきたいので協力と理解していただきたい。国内需要を取り戻していくかが重要であり高速線は選択と集中をしていかなければならない。
- (組合) 2.0ヶ月という数字だが、1.2、1.4、1.6、1.8ヶ月という回答の時は何十億という赤字があった中でも0.2ヶ月ずつ上げてきた。やっと累積黒字を達成しても2.0ヶ月という数字では納得できない。赤字の中でも0.2ずつ上げて、黒字になっても0.2という同じ上げ幅ということについて確認したい。
- (会社) コロナ禍の赤字状況での算出方法はゼロベースからの積み上げであった。黒字が出た中で業績連動を加味して算出しているため算出方法が異なる。